



2020.12月号

小・中・高の教育改革

今、学校教育は大きく変化していく時期にあります。小学校・中学校・高校のそれぞれで、すでに変ったこと、これから変わることがあります。「教育改革」の大きな流れを見てみましょう。

どうして教育が変わるの？

教科書や時間割、授業の進め方の基となる「学習指導要領」というものがあります。この学習指導要領が、変化の目まぐるしい社会で生きていく子どもに豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるために必要な力を育成するために、学校でどんな教育がされるべきか、ということを考えて、改訂されました。

ここが変わった！こんなに変わる！注目のポイント

①通知表

学習指導要領の改訂で、生徒のみなさんに身につけてほしい力が「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3点に整理されました。通知表には、教科ごとに、この3つを評価して成績が記入されるようになります。

「主体的に学習に取り組む態度」については、大切なのは授業中の発言やノートまとめなどだけではありません。自分の学習状況を把握し、学習の進め方についていろいろと考え、工夫するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうか、評価の対象となります。

これまで	2020年度から
関心・意欲・態度	知識・技能
思考・判断・表現	思考・判断・表現
技能	主体的に学習に取り組む態度
知識・理解	

②英語の授業

小学生のみなさんの中には、前から英語の授業を受けていた、という人が多くいるかと思います。これまで、小学校の英語は「外国語活動」といい、国語や算数とは違った特別な活動でした。それが、今年の春から「外国語」という教科になり、国語や算数などと同じように成績が通知表に記入されるようになりました。

また、来年は中学校の教科書や授業が変わります。これまでよりも覚える単語数が増えたり、文法項目も高校で習っていたものが一部、中学校で覚えるものとして加わります。さらに、授業は基本的に英語で行うという方針が、学習指導要領で示されています。

③プログラミング教育・情報

自分が求める結果を出すためにはどうすればよいか、論理的に考えていく力を、コンピュータを使ったり、各教科の中で課題に取り組んだりする中で育成していきます。小学校では各教科の中で論理的に考える「プログラミング的思考」を学び、中学校では技術・家庭の授業でコンピュータを用いてより実践的に学習します。高校では、2022年度からプログラミングの内容を含む科目「情報Ⅰ」が必修となります。

※これからの大学入試※

学ぶ内容が変わることを受けて、入試のしくみも変わろうとしています。大学入試は今年度が入試改革の初年度で、2021年1月に「大学入学共通テスト」が初めて実施されます。この大学入学共通テストは、現在の中学2年生が高校3年生となる2024年度に本格実施される予定です。大学入試改革は今も検討中の課題が多く、ニュースなどで新しい情報をおさえておくことが大切です。

↓過去の情熱通信はこちらから！



SOS

9月号で書きましたが、明光義塾釧路愛国教室は「無理・できない」が言えない空間です。自分の可能性を信じることを掲示をしています。

人間は、他人の言葉より自分の言葉を信じます。自分で「無理・できない」と言ってしまうと、できるはずの問題も本当にできなくなります。これは、他人の言葉を聞いていないことがあっても、自分の言葉を聞いていないことは寝言以外ではあり得ないからです。自分で言ってしまうと、必ず聞こえていて、実現してしまう可能性が高まっていき「そう、思うったら、そう」になってしまうのです。まさに「S(そう)、O(思ったら)、S(そう)」です。「無理・できない」と助けのSOSを呼ばずに、SOSの精神で「ここまでできた」「今はできなくても、いつかできるようになる」とプラスのイメージを持つ言葉を使ってください。

釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 Tel 0154-32-7870
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

心が豊かな大統領

こんにちは！皆さんは世界一貧しい大統領をしていますか？その人の名前はホセ・アルベルト・ムヒカ・コルダノ（1935年5月20日-）。ウルグアイの政治家です。

2009年11月の大統領選挙に当選し、2010年3月1日より2015年2月末までウルグアイの第40代大統領を務めました。愛称はエル・ペペ。報酬の大部分を財団に寄付し、月1000ドル強で生活していました。趣味は花の栽培です。ムヒカの個人資産は、フォルクスワーゲンという車（ビートル）とトラクター、農地、自宅のみで、大統領公邸には住まずに、首都郊外の質素な住居に暮しています。園芸が趣味という人で、大統領や国会議員としての報酬や寄付をもとに農業学校を設立し、子どもたちに農業を教えていました。こんな政治家日本にいますかね。

釧路春採SC教室 安田 光則 Tel 0154-65-6458
〒085-0813 釧路市春採7-1-48

単語蒐集

入学試験の時期が近づいてきました。受験生は焦って闇雲に勉強したくなるかもしれませんが、模試などの結果を見直したり、学校や塾で何をすべきか聞いたりとするといいと思います。やるべきことをコンパクトにできるはずですよ。

さて、受験生以外の学年の皆さんにも、今のうちからぜひ実践してほしいことがあります。それは単語の蒐集です。専用のノートを作り、知らなかった単語と、その意味と例文をセットで書いて、集めていきます。

これは日本語も英単語も同じです。特に日本語でやってほしい理由は、文章の中で使われている意味を知るには、元の意味やどういう時に使用されるのかを知らなければ、類推もできないことです。受験生の今頃、辞書にとらめっこして手を止めることを減らすために、早いうちから取り組んでいきましょう。

当別教室 平山 由香利 Tel 0133-23-2228
〒061-0233 石狩郡当別町白樺町163-38 1F

「入試」から「選抜」へ

年明けには大学入学共通テストが実施されます。センター試験との違い、英検の件、記述問題の件など様々な混乱を越えその日を迎えるわけですが、さて、大学受験に「入試」という言葉があまり使われなくなった事にお気づきでしょうか？

実は「一般入試」は「一般選抜」、「推薦入試」は「学校推薦型選抜」、「AO入試」は「総合型選抜」と名称が変更になっています。つまり「入試」ではなく「選抜」に替わっているのです。この事と関係が深いのは推薦型選抜、総合型選抜で大学に入学する学生の比率が高くなっている点です。私立大学では一般選抜で入学する学生と比率が逆転している大学もあります。推薦型も総合型も高校時代の過ごし方が影響する選抜方式です。今の時代は高校入学の瞬間から大学受験が始まるのです。

釧路鳥取教室 藤井 聡史 Tel 0154-65-9933
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

デジタル化社会

国のデジタル化に向けて、平井デジタル改革担当大臣が各種メディアにおいて、その意気込みを表明していますが、世界はまさしくデジタル化に向けてどんどんとその歩を進めています。基本的にデジタルなものが大好きな僕も、来る未来に思いをはせています。デジタル化と聞くと、そういうのが苦手な人にとっては良い迷惑な気がするかもしれません。しかしデジタル化がうまくいっている国では、デジタルなものが苦手な人でも、きちんとその恩恵を受けているようです。たとえばネット投票を実施しているある国では、山岳地帯に住む老人の投票率が上がったというデータがあります。操作の仕方がさほど複雑でなく、簡単なものだったのでしょ。わかりやすくして便利なデジタル社会、そんな未来が来ると良いだろうな、と妄想が止まりません。

中標津教室 堀 正太 Tel 0153-74-0900
〒086-1007 標津郡中標津町東七条南7-8 2F

ノンアルコール・ビールで ダイエット？

定期通院の際、主治医からしばらく酒を控えるように言われました。はい、毎度毎度、飲み過ぎですから（苦笑）。よし、ならばついでに体重を絞っちゃえ。というわけでダイエット開始です。晩酌の「ビール」を「ノンアルコール・ビール」に置き換えるだけの【飲んだつもりダイエット】（笑）です。口にするのは、つまみとビールもどきだけ。ノンアルコールにしてゼロカロリーですから、確実に痩せるだろう…。で、結果報告です。2か月で約9キロ減。なかなか良好です。内臓脂肪が付きまくり！ということだったのでしょね。がしかし、そこからがなかなか落ちません。先に内臓脂肪が落ち、その次に皮下脂肪が落ちるのでしょね。ベスト体重まではあと3キロ減です。達成できるでしょうか？それともリハウンドして終了でしょうか？

株式会社 情熱空間
代表取締役 三木 克敏